

# 小牧南遺跡 第3次 (No.6)

今回は遺構（人間の生活の痕跡）の紹介をするぞ。



モグ博士



アーリーちゃん

## 弥生時代末～古墳時代初頭の竪穴住居



小牧南遺跡で最も多いのは、弥生時代末～古墳時代初頭（約1,700年前）の遺構じゃ。この時期の竪穴住居は、小牧南遺跡では5～6m程度の隅の丸い四角形をしており、屋根を支える柱が立てられていた穴が4つあるのが基本形じゃ。今回の調査だけで、すでに20棟以上見つかっているのう。写真の場所では7棟の住居跡が少しずつ重なりあって見つけたのじゃ。各住居から出土した土器はほとんど時期差のないものであることから、比較的短期間に建て替えが行われていたことがうかがえるのう。



約1,700年前の時代でも、住居の建て替えが行われていたのね。今の時代でいうリフォームみたいなものだったのかな??



### 【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所  
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1  
電話番号: 059-363-3195/ファックス: 059-363-3196  
E-mail: [maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)